

MOOER



Owner's Manual

CONTENTS

ご使用上の注意	01
主な機能	02
各部の名称と機能	03
リアパネル	04
クイックスタート	05
PLAY	08
CHAIN	09
エフェクトブロック	10
CTRL/TAP	11
EXP	12
EXP FUNCTION	13
EXP CALIBRATE	14
MERGE	15
SYSTEM	17
USB AUDIO	17
FS MODE	18
CAB SIM THRU	18
TRAIL	19
LOOPER MODE	19
プリセットの保存	20
RHYTHM	21
LOOPER	22
TUNER	23
USB	24
SPECIFICATIONS	25
MODEL	26-30

ご使用上の注意

PLEASE READ CAREFULLY BEFORE PROCEEDING

電源

Mooer GE200は、レギュレートされた⊕—⊖—⊖センターマイナスDC9Vアダプターを接続します。電池はご使用になれません。
アダプターを接続する際は、必ずセンターマイナスDC9Vであることを確認してください。それを越える電圧を供給すると、本体が破損したり、火災の原因となることもあります。アダプターを間違えたことが原因の故障は保証対象外となります。

接続

機器との接続や取り外しを行う際は、必ず電源をOFFにして行って下さい。
電源を入れたままで接続や取り外しを行うと、機器が損傷する場合があります。
移動や持ち運びを行う際は、本体から全てのプラグを外して下さい。

クリーニング

クリーニングを行う際は、柔らかく乾いた布を使用してください。必要であれば、少し湿らせた布を使います。クレンザーやアルコール、ペイントシンナー、ワックス、ソルベント、洗剤、また化学物質を含んだクロス等は使用しないで下さい。

他の電子機器による干渉

ラジオやテレビなどの近くで本機を使用すると、電波による干渉を受けることがあります。
ご使用の際はラジオやテレビなど、電波を発したり受信する機器の近くで使用しないで下さい。

ご使用環境

変形や変色など、損傷を避けるため、下記の環境での使用はお控え下さい。

- 直射日光の当たる場所
- 磁場の強い場所
- 埃の多い場所や汚れのひどい環境
- 強い揺れやショック
- 放熱するものの近く
- 高温多湿な環境
- 湿度が高く、湿気の多い場所

FCC certification

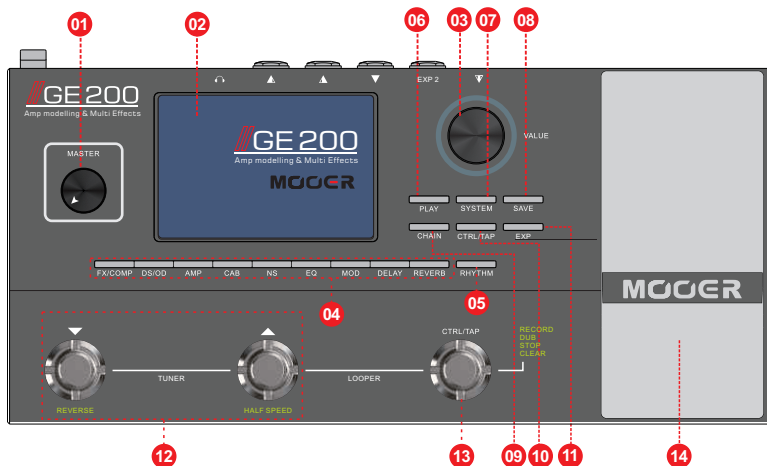
This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

主な機能

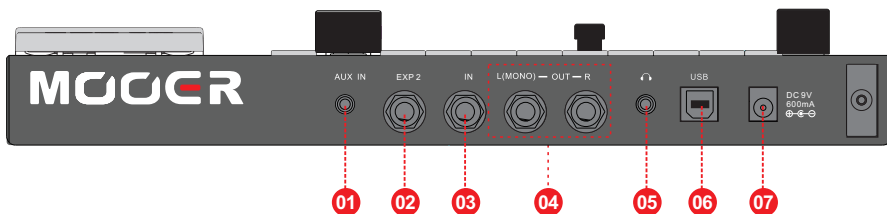
- 55種類のハイクオリティなアンプモデリング
- 26種類のスピーカーキャビネットモデルに加え、サードパーティのIRを追加可能
- 152種類のハイクオリティエフェクトを収録：コンプレッサー、ドライバー、ノイズゲート、EQ、モジュレーション、ピッチ、フィルター、ディレイ、リバーブ等
- ドライ/ウェットのどちらかを選べる52秒までのフレーズルーパー：ハーフスピード、リバーブエフェクト搭載
- 40種類のドラムパターンと10種類のリズムを収録したドラムマシン
- 200までのユーザープリセットを保存/呼び出し可能
- 内部エフェクトの接続順を自由に設定可能
- PCと接続し、PCからの操作やダイレクトレコーディング可能なUSB端子
- AUXインプットとヘッドフォンアウトを搭載
- ディレイ/リバーブモジュールにTrail On/OFFを選択

各部の名称と機能



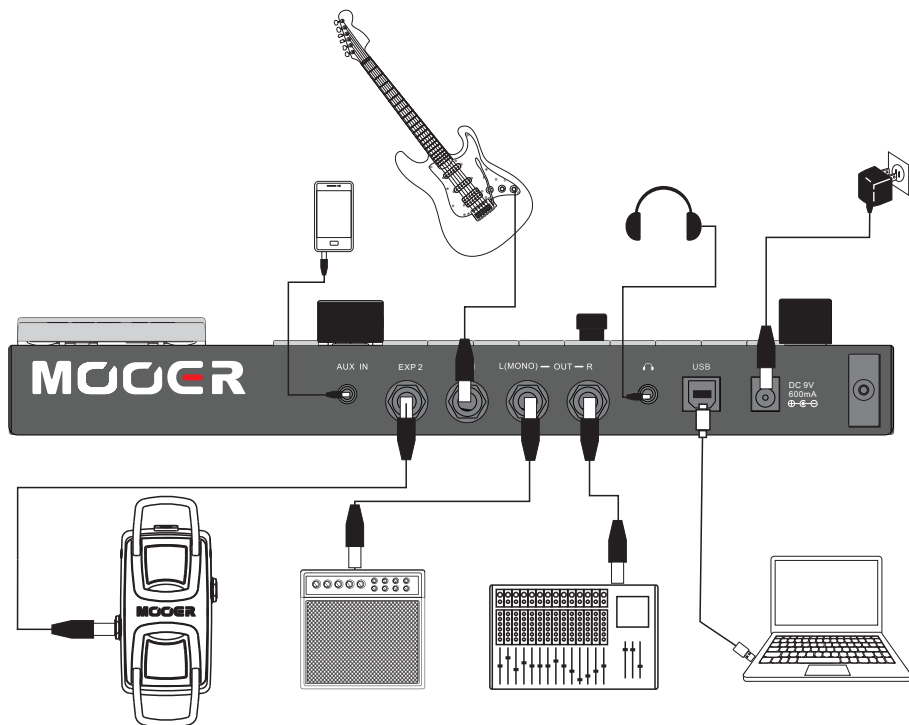
- 01 **MASTER**：GE200全体のアウトプットボリュームを調整します。
- 02 **LCDディスプレイ**
- 03 **VALUE**：メニュースクリーンでパラメータを調整します。
- 04 **エフェクトブロック**：各エフェクトモジュールのON/OFFとエディットスクリーンへのアクセスをします。
- 05 **RHYTHM**：ドラムマシンとメトロノームのON/OFF、エディットスクリーンにアクセスします。
- 06 **PLAY**：プリセットメニュースクリーンに入ります。
- 07 **SYSTEM**：システムセッティングメニューに入ります。
- 08 **SAVE**：プリセットセーブメニューにアクセスします。
- 09 **CHAIN**：シグナルチェーンメニュースクリーンに入ります。
- 10 **CTRL/TAP**：CTRL/TAPフットスイッチのセッティングメニューに入ります。
- 11 **EXP**：エクスプレッションペダル（EXP1/EXP2）のセッティングとキャリブレーションメニューに入ります。
- 12 ▲/▼フットスイッチ
 - PLAYメニューとCHAINメニューでプリセットダウン/アップを行います。
 - 両方のフットスイッチを同時に押すとチューナーを起動します。
 - ルーパー使用中、リバーブとハーフスピードスイッチとなります。
- 13 **CTRL/TAPフットスイッチ**
 - 長押しすることでTAPモードとCTRLモードを切替えます。
 - TAPモード（点滅）では複数回スイッチをタップすることでテンポを設定できます。
 - CTRLモード（点灯）ではアサインされたエフェクトのON/OFFを切替えます。
 - FSモード2では変更するプリセットの決定を行います。
- 14 **エクスプレッションペダル**：様々なパラメータの値や機能を割り当て、リアルタイムにコントロールすることができます。詳細は**EXP**の項目を参照して下さい。

リアパネル

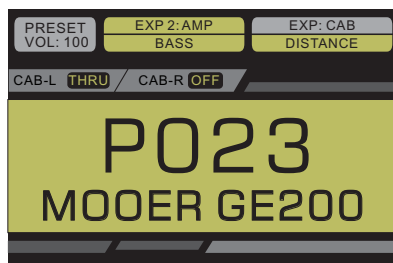


- 01 AUX IN**
MP3プレイヤーやモバイルフォンなど、外部のオーディオソースを接続する1/8インチステレオジャックです。GE200を通して音楽を再生し、それに合わせて練習をすることができます。
- 02 EXP 2**
1/4インチステレオプラグを接続するエクスプレッションペダル端子です。エクスプレッションペダルの設定はEXPから行います。
- 03 IN**
楽器を接続する1/4インチフォンジャックです。
- 04 OUT**
GE200のメインオーディオアウトプットです。
モノラルで使用する場合はLに接続します。
LとRを使用するとステレオアウトが可能となります。
- 05 HEADPHONES**
ヘッドフォンを接続して音を出さずに練習したり、GE200をサウンドカードとして使用する際のモニタリングに使用します。
- 06 USB**
PCと接続してダイレクトレコーディング、ソフトウェアアップデート、エディタからプリセットエディットを行います。
- 07 DC 9V**
9VDCアダプターを接続します。

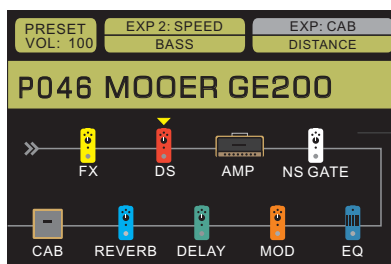
クイックスタート



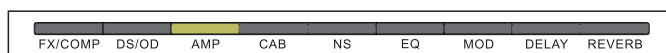
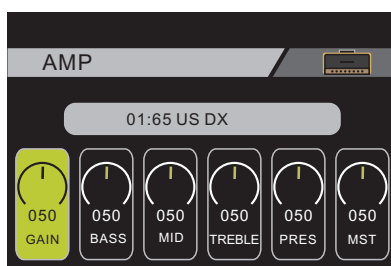
- GE200と機材を接続します。
- ギターをINPUTジャックに接続します。
- アダプターを接続して電源を入れます。



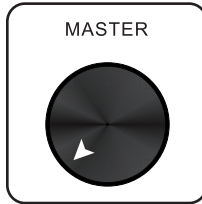
- PLAYボタンを押し、PLAYスクリーンを表示させます。
- ▲/▼フットスイッチを押し、プリセットを変更します



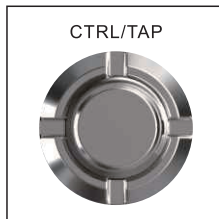
- CHAINボタンを押し、CHAINスクリーンを表示させます。
- VALUEコントロールでエフェクトブロックの接続順を編集します。



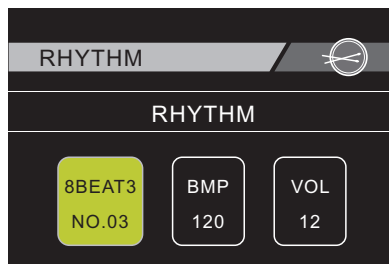
- ON/OFF、パラメータの編集をしたいエフェクトブロックのボタンを押します。
- VALUEコントロールでエフェクトブロックのセッティングを調整します。



- MasterコントロールでGE200の音量を調整します。



- CTRL/TAPフットスイッチでアサインしたエフェクトブロックのON/OFF、またはタップテンポ入力ができます。
- CTRL/TAPフットスイッチを長押しすると、機能を切り替えることができます。

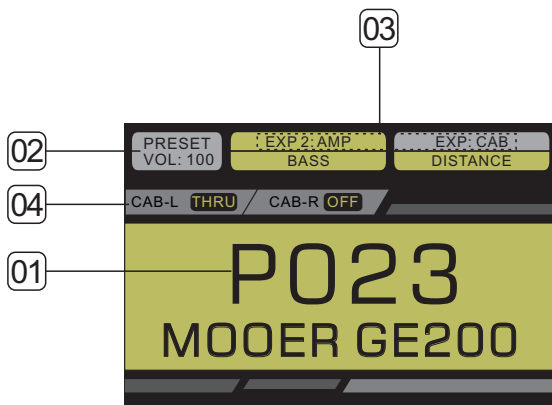


- RHYTHMボタンでドラムマシンのON/OFFができます。
- VALUEコントロールでパターンスピードと音量を調整します。
- CTRL/TAPフットスイッチによるテンポ設定も可能です。

PLAY

GE200のライブオペレーションスクリーンです。プリセットの設定等を行った後、ライブシチュエーションでGE200を使用する際はこのスクリーンとなります。PLAYボタンを押すとこのスクリーンが表示されます。

PLAYスクリーンでは現在のプリセットに関する様々な情報が表示されています。



1. プリセットネームとプリセットナンバー
2. プリセットボリューム
3. EXP、EXP2の機能とパラメータ
4. 各アウトプットごとのCAB SIMのON/OFF設定

▲/▼フットスイッチを押してプリセットを変更します。プリセットはVALUEコントロールでも素早く変更することができます。

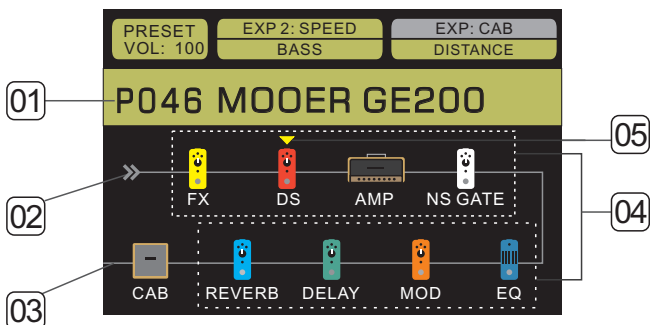
VALUEコントロールを押すことで、このノブの機能をプリセット選択とプリセットボリュームの設定で切り替えます。

プリセットボリュームの設定

- VALUEコントロールを、プリセットボリュームがハイライトされるまで押します。
- VALUEコントロールを回してボリュームを設定します。
- プリセットを保存します。保存しなければ、この設定は失われます。

CHAIN

選択されているプリセットのシグナルチェーンと各エフェクトブロックのON/OFFを表示します。また、プリセットのエフェクトブロック接続順の編集も行います。新しいプリセットの作成や設定の際にはこのスクリーンの使用を推奨します。



1. プリセットネームとプリセットナンバー
2. シグナルチェーンのインプット
3. シグナルチェーンのアウトプット
4. エフェクトブロック
5. カーソル

一般的なペダルボードのエフェクター接続順を変更するように、エフェクトブロックの接続を変更すると、音が大きく変わります。

エフェクトブロックの接続順の設定

- VALUEコントロールを回してカーソルを動かします。
- 接続順を変更したいエフェクトブロックにカーソルを合わせ、VALUEコントロールを押します。（カーソルが赤く変わります。）
- VALUEコントロールを回して、選択したエフェクトブロックの位置を動かします。
- エフェクトブロックの位置が決まったら、VALUEコントロールを押して決定します。（カーソルが黄色に戻ります。）

エフェクトブロック

GE200には9つのエフェクトブロックがあります。各ブロックはフロントパネルのボタンで設定できます。

FX/CO :コンプレッサーとワウペダル

DS/OD :ディストーションとオーバードライブ

AMP :アンプモデル

CAB : スピーカーキャビネットモデル

NS : ノイズサブレッサー

EQ : イコライザー

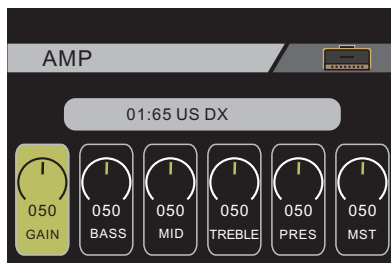
MOD :モジュレーションとフィルターエフェクト

DELAY :ディレイ

REVERB :リバーブ



エフェクトブロックボタンで各ブロックのON/OFFとセッティングページへのアクセスができます。



エフェクトブロックセッティングページではエフェクトモデルの変更やパラメータの設定を行います。

- VALUEコントロールを回してパラメータをハイライトします。
- VALUEコントロールを押して編集したいパラメータを選択します。
- VALUEコントロールを回してパラメータを変更します。
- VALUEコントロールを押してパラメータを決定します。

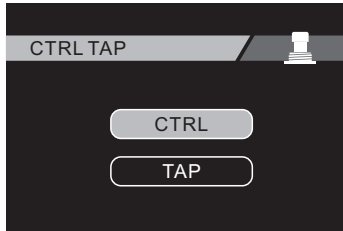
CTRL/TAP

CTRL/TAPフットスイッチには2つの主な機能があります。

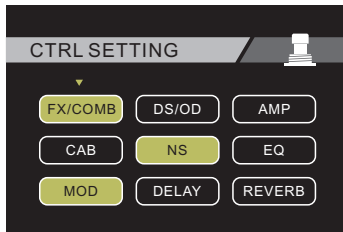
- **CTRL:** アサインされたエフェクトブロックのON/OFF
- **TAP:** 複数回フットスイッチを押すことでディレイのテンポをコントロール

2つの機能はCTRL/TAPフットスイッチを1秒間長押しすることで切り替えることができます。

CTRL/TAPボタンを押すと、CTRL/TAPフットスイッチのセットアップスクリーンを表示します。VALUEコントロールで2つのオプションから機能を選択します。



- TAPを選択すると、CTRL/TAPがタップテンポモードとしてプリセットに設定されます。
- CTRLを選択すると、CTRL/TAPフットスイッチにアサインするエフェクトブロックを設定できます。



VALUEコントロールでエフェクトブロックを選択し、ハイライトすることでCTRL/TAPフットスイッチにエフェクトブロックをアサインします。

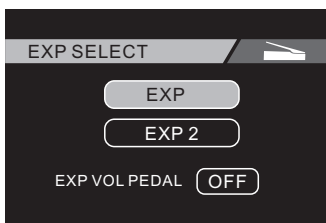
CTRL/TAPフットスイッチは**FSモード2**（後述）を使用することでプリセットの選択にも使用できます。

EXP

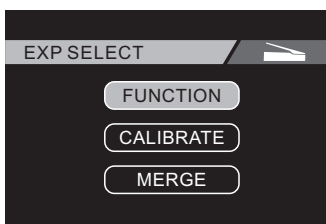
GE200にはビルトインエクスプレッションペダル（EXP）に加え、EXP 2端子に接続する2台目のエクスプレッションペダル（EXP2）に対応しています。EXP2を使用するには、EXP 2端子にTRSステレオケーブルでエクスプレッションペダルを接続します。

EXPとEXP2は全てのエフェクトブロックの全てのパラメータからアサインするパラメータを選択できます。

また、EXPスクリーンではエクスプレッションペダルのキャリブレーションも行えます。

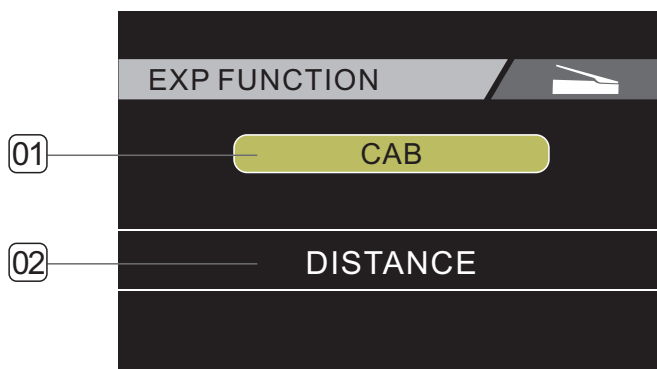


- **EXP:** ビルトインエクスプレッションペダルの設定とキャリブレーション
- **EXP2:** 接続したEXP2エクスプレッションペダルの設定とキャリブレーション
- **EXP VOL PEDAL ON/OFF:** この設定を有効にすると、EXPペダルにマスターボリュームコントロールがアサインされ、先に設定された機能は無効になります。この設定はプリセットごとに保存することができます。



- **FUNCTION:** エフェクトパラメータをエクスプレッションペダルにアサインします。
- **CALIBRATE:** エクスプレッションペダルのキャリブレーション設定を行います。
- **MERGE:** エクスプレッションペダルの機能にMERGE（後述）をアサインします。

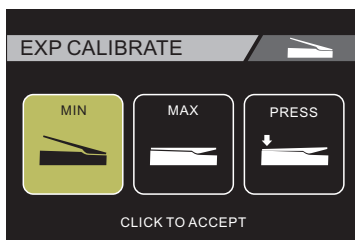
EXP FUNCTION



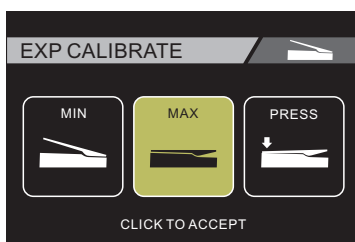
1. VALUEコントロールを回してアサインしたいエフェクトブロックを選択します。
2. VALUEコントロールを回してパラメータを選択します。
VALUEコントロールを押すとエフェクトブロックとパラメータの選択を切替えます。

Note : WAH*、POSITION*のように*が付いているパラメータは、エクスプレッションペダルを使ってエフェクトブロックのON/OFFを行えます。

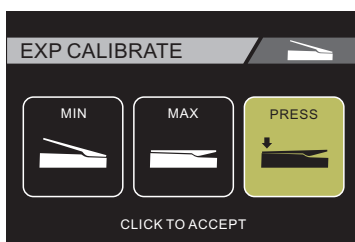
EXP CALIBRATE



1. ペダルをヒールダウンポジションにし、VALUEコントロールを押します。



2. ペダルをトゥーダウンポジションにし、VALUEコントロールを押します。



3. ペダルをトゥーダウンポジションにし、さらに奥まで力をかけます。奥まで押し込んだら、VALUEコントロールを押します。エクスペッションペダルにアクティベーションスイッチを割り当てる際に使用します。

MERGE

MERGEは、エクスプレッションペダルに複数のパラメータをアサインするスペシャル機能です。複数のパラメータと、そのヒールダウン、トゥーダウンポジションの値を設定できます。これは様々な使い方ができますが、特に2種類のサウンドをシームレスに切り替えるような使い方に最適です。

例えば、DELAYエフェクトブロックのディレイタイム、フィードバック、レベルを同時にエクスプレッションペダルでコントロールすることができます。

EXPをヒールダウンポジションに動かし、EXPセッティングメニューからMERGEを選択します。各パラメータの値は一度に1つずつ設定します。



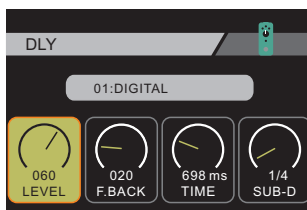
(Heel down)



- DELAYボタンを押してDELAYエフェクトブロックを開きます。
- EXPペダルをヒールダウンポジションにします。
- LEVELパラメータの値を15にします。
- まだVALUEコントロールを押さないで下さい。



(Toe down)



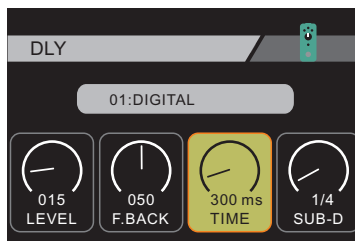
- 続いてEXPペダルをトゥーダウンポジションにします。
- LEVELパラメータを60に設定します。この時、ハイライトされているLEVELパラメータの枠の色が変わります。
- これで、EXPペダルを使ってLEVELを15～60の範囲で動かせるようになります。
- VALUEコントロールを押し、次のパラメータの設定に移ります。



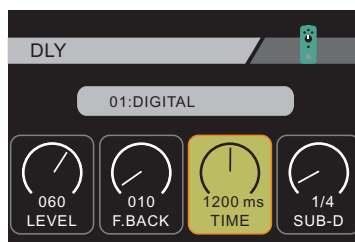
- LEVELパラメータと同様に、F.BACKの値をヒールダウンで50、トゥーダウンで10に設定します。
- 同様にTIMEの値をヒールダウンで300ms、トゥーダウンで1200msに設定します。



(Heel down)



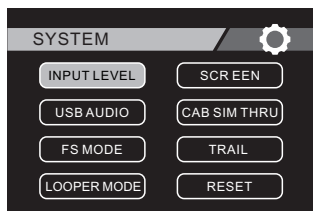
(Toe down)



EXPペダルを動かし、実際に設定したとおりにパラメータが動くことを確認します。MERGE機能では、複数のエフェクトブロックのパラメータも同時に設定することができます。（エフェクトタイプパラメータをアサインすることはできません。）

SYSTEM

SYSTEMボタンを押して、システムセッティングメニューに入ります。このメニューではGE200の様々なグローバルセッティングの設定を行います。



INPUT LEVEL: インプットゲインレベルを調整します。

SCREEN : ディスプレースクリーンの明るさを調整します。

USB AUDIO: USBオーディオアウトプットの設定をします。

CAB SIM THRU: アウトプットへのCABシミュレーションのアサインを設定します。

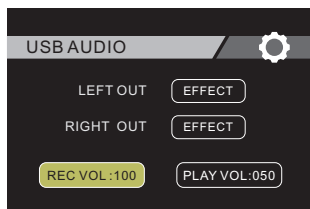
FS MODE: FSモードを切替えます。

TRAIL : DELAY、REVERBモジュールのTrail（モジュールバイパス時に最後の残響を残す）ON/OFFを設定します。

LOOPER MODE: ルーパーがドライ（シグナルチェーン先頭）またはウェット（シグナルチェーン最後尾）のどちらに設置されるかを選択します。

RESET: GE200をファクトリーセッティングにリセット、およびファームウェアバージョンの確認をします。

USB AUDIO



USB AUDIO OUTPUTS

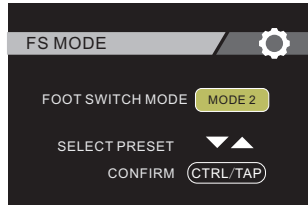
- **DRY:**インプットシグナルにエフェクトをかけず、シグナルプロセッサーをバイパスした音を出力します。
- **EFFECT:** GE200のエフェクトをかけた音を出力します。

REC VOL: コンピュータに送信するデジタルオーディオレベルを調整します。

PLAY VOL: GE200のモニター（プレイバック）レベルを調整します。

FS MODE

GE200には2種類のフットスイッチモード（FSモード）があります。これらのモードは、フットスイッチでプリセットチェンジを行う際の動作を切替えます。



MODE 1:

- ▲/▼フットスイッチでプリセットナンバーのアップ/ダウンを行いながら変更します。
- ▲/▼フットスイッチを長押しするとプリセットを素早くスクロールできます。

MODE 2:

- ▲/▼フットスイッチで次に変更したいプリセットナンバーを選択し、CTRL/TAPフットスイッチでプリセットを変更します。

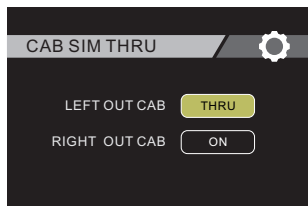
CAB SIM THRU

GE200のスピーカーキャビネットシミュレーション(CAB SIM)は、様々なアウトプットのコンビネーションで使用できます。様々なシチュエーションで効果的です。

例えば、

GE200のLEFTアウトプットからCAB SIMをバイパスしてステージのアンプに接続

RIGHTアウトプットからPAシステムにCAB SIMを通して接続するという設定が可能です。



ON: CAB SIMが有効になります。

THRU: CAB SIMが無効となり、バイパスされます。

TRAIL

TRAILはDELAY、REVERBエフェクトをOFFにした際の最後の残響を数秒間残す設定です

使用例

1. CTRLでDELAY/REVERBエフェクトをOFFにしても残響を残して自然に音を繋げることができます。
2. プリセットを切り替えたとき、スイッチングから数秒間TRAILが残るので、音色を自然に切り替えることができます。

LOOPER MODE

ルーパーポジション

GE200ファームウェア2.0以上では、ルーパーの設置位置をPRE/POSTから選択できます。

シグナルチェーンは下図のとおりです

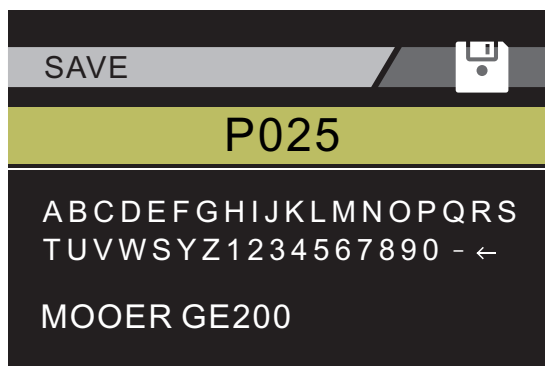


PRE：ルーパーはエフェクトチェーンの先頭に設置され、ドライシグナルを録音/再生します。その後別のエフェクトチェーンのエフェクトをかけることができます。

POST：ルーパーはエフェクトチェーンの最後尾に設置され、ウェットシグナルを録音/再生します。エフェクトの設定を変えてもルーパーの音色は変わりません。

プリセットの保存

SAVEボタンで、現在の設定をプリセットに保存します。

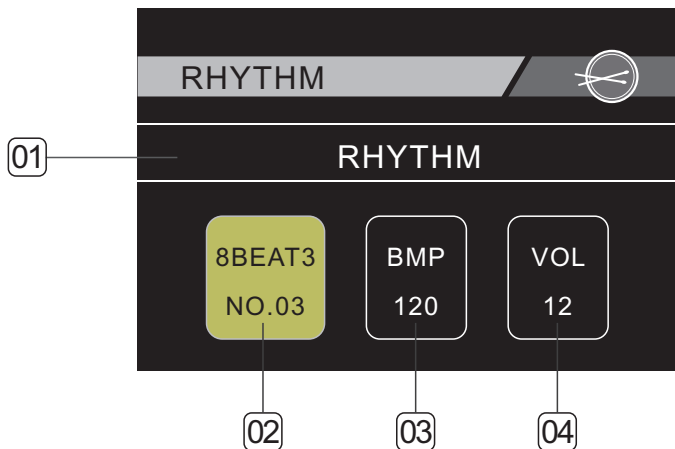


- VALUEコントロールを回して保存先のプリセットナンバーを選択します。
- VALUEコントロールを押してプリセットネームを設定します。
- SAVEボタンを押し、プリセットを保存します。
- PLAY、またはCHAINボタンを押すと、プリセットを保存せずに終了します。

RHYTHM

GE200のビルトインRHYTHMモジュールには40タイプのドラムマシンと10タイプのメトロノームスタイルを収録し、練習などに使うことができます。

RHYTHMボタンでモジュールのON/OFFを行い、エディットスクリーンを表示します。



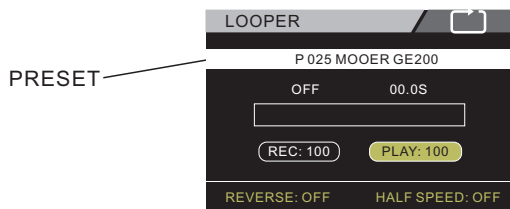
1. RHYTHM（ドラムマシン）とMETRONOME（メトロノーム）を切替えます。
2. ドラムパターン/メトロノームスタイルを選択します。
3. ドラムマシン/メトロノームのテンポを設定します。
4. 音量を設定します。

CTRL/TAPフットスイッチでドラムマシンのタップテンポが可能です。

LOOPER

GE200には52秒までのフレーズルーパーを内蔵しています。

▲フットスイッチとCTRL/TAPフットスイッチを同時に押し、LOOPERスクリーンにアクセスします。

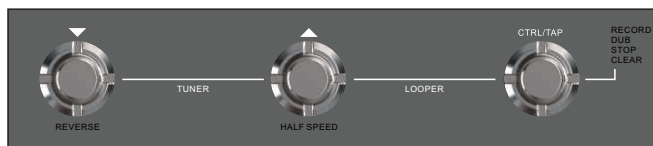


VALUEコントロールを使い、下記のパラメータを設定できます。

PLAY: ルーパーのプレイバックボリューム

REC: ルーパーのレコーディングレベル

PRESET: 現在のプリセット



3つのフットスイッチで、ルーパーをコントロールします。

CTRL TAP

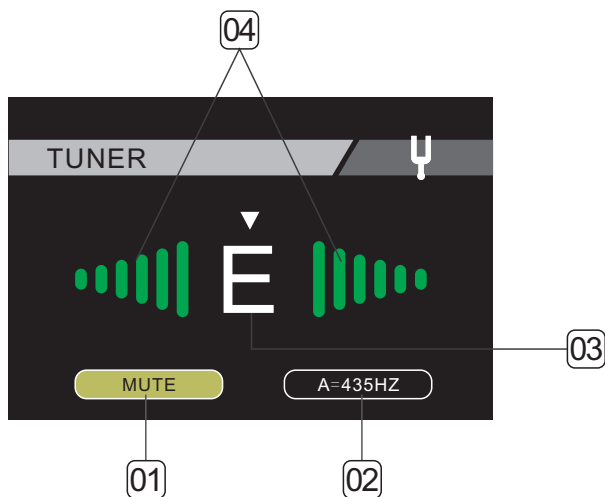
- 押すと、レコーディングを開始し、さらに押すことでプレイバック、オーバーダブを行います。
- 素早く2回押すことで停止します。
- 長押しすると現在のループをメモリーから消去します。

▼ : リバースエフェクトのON/OFFを切替えます。

▲ : ハーフスピードのON/OFFを切替えます。

TUNER

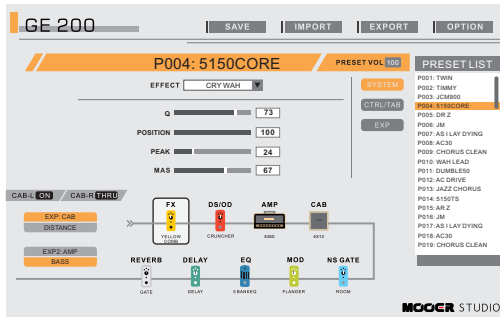
▲/▼フットスイッチを同時に押すことで、GE200のチューナーを起動/終了することができます。



1. チューニング中、オーディオ信号のミュートまたはバイパスを設定します。
2. チューナーキャリブレーションを430-450Hzの間で設定します。
3. 現在の音程に近い音階を表示します。
4. 音程がずれている時は赤色、ピッチが合っているときは緑色で音階からのずれを表示します。

USB

GE200をPC/MacとUSBで接続すると、ダイレクトレコーディング、ソフトウェアアップデートに加え、エディタソフトウェアを使ってプリセットの編集、新たなアンプモデルの追加、外部IRの読み込みが行えます。



PC用のソフトウェアは<http://moeraudio.com/>からダウンロードできます。

●Moorer Studio Editorの使い方

- ダウンロードしたファイルを解凍し、ソフトウェアをインストールします。
- Moorer GE200をUSBケーブルでPCと接続し、電源を入れます。
- インストールしたMoorer Studioソフトウェアを起動し、Search Deviceをクリックします。
- ドロップダウンメニューからデバイスを選択します。
- Open Deviceをクリックすると、エディタが開きます。

●ファームウェアアップデート

- ※ファームウェアアップデートにはMoorer Studioソフトウェアが必要です。
- Moorer GE200をUSBケーブルでPCと接続します。
- 左側の▼フットスイッチを押しながらアダプターを接続します。(アップデートモードとなります)
- Moorer Studioソフトウェアを起動し、Search Deviceをクリックします。
- ドロップダウンメニューからGE200 UPDATEを選択します。
- Updateをクリックすると、アップデートが開始されます。アップデート中は本体の操作、ケーブルの接続等を変更しないで下さい。

SPECIFICATIONS

NO.of Effect Types: 152

Preset : 200

Input: 1/4" mono audio jack

Output: 1/4" mono audio jack

AUX IN: 1/8" stereo audio jack

Headphone out: 1/8" stereo audio jack

EXP2 : 1/4" stereo jack cable

Sampling rate: 44.1K

Sampling accuracy: 24bit

Signal to noise ratio: 98dB

Impulse Response :

Format: WAV

Sampling rate: 44.1K Hz (Full Sampling rate supported)

Sampling accuracy: 24bit

Samples: 512

Power requirements: 9V DC 600mA ⊕ ⊖ ⊖

Dimensions: 297mmX145.5 mmX45.5 mm

Weight: 1.4Kg

Accessories: Owner's Manual, AC adapter 9V DC, USB CABLE

スペックは予告なく変更される場合があります。

MODEL

FX/COMP		
MODEL NAME		BASED ON
1	CRY WAH	DUNLOP GCB95
2	535 WAH	DUNLOP Crybaby 535Q
3	AUTO WAH	MOOER @WAH
4	TALK WAH AH	MOOER RedKid Talk wah 'AH'
5	TALK WAH OH	MOOER RedKid Talk wah 'OH'
6	TOUCH WAH	MOOER ENVELOPE auto-wah
7	YELLOW COMP	MOOER YELLOW COMP compressor
8	BLUE COMP	MOOER BLUE COMP compressor

DS/OD		
MODEL NAME		BASED ON
1	TUBE DR	B.K. Butler Tubedrive
2	808	IBANEZ Ts808
3	PURE BOOST	MOOER PURE BOOST
4	FLEX BOOST	MOOER FLEX BOOST
5	DDRIVE	BARBER Direct Drive
6	BLACKRAT	ProCo Rat
7	GREY FAZE	Dunlop Fuzz Face
8	MUFFY	EH Big Muff
9	MTL ZONE	BOSS METAL ZONE
10	MTL MASTER	Digitech METAL MASTER
11	OBSESSIVE DIST	Fulltone OCD
12	JIMMY OD	Paul Cochrane Timmy OD
13	FULL DRV	Fulltone Fulldrive 2
14	SHRED	Marshall Shred master
15	BeeBee PRE	Xotic BB Preamp
16	BeeBee +	Xotic BB Plus
17	RIET	Suhr Riot
18	TIGHT DS	Amptweaker TightRock
19	FULL DS	Fulltone GT-500
20	GOLD CLON	Klon Centaur

*NOTES: 全てのプロダクトネームは各メーカーの呼称です。ここではシミュレーションの説明として記載しています。

AMP		
	MODEL NAME	BASED ON
1	65 US DX	Fender 65 Deluxe reverb
2	65 US TW	Fender 65 Twin Reverb
3	59 US BASS	Fender 59 Bassman
4	US SONIC	Fender Super Sonic
5	US BLUES CL	Fender Blues Deluxe clean channel
6	US BLUES OD	Fender Blues Deluxe
7	J800	Marshall JCM800
8	J900	Marshall JCM900
9	PLX 100	Marshall Plexi 100
10	E650 CL	Engl E650 Clean
11	E650 DS	Engl E650 Distortion
12	POWERBELL CL	Engl E645 Clean
13	POWERBELL DS	Engl E645 Distortion
14	BLACKNIGHT CL	Engl EN650 Blackmore Clean
15	BLACKNIGHT DS	Engl EN650 Blackmore Distortion
16	MARKIII CL	Mesa Boogie MARK III Clean
17	MARKIII DS	Mesa Boogie MARK III Distortion
18	MARKV CL	Mesa Boogie MARK V Clean
19	MARKV DS	Mesa Boogie MARK V Distortion
20	TRI REC CL	Mesa Boogie Triple Rectifier Clean
21	TRI REC DS	Mesa Boogie Triple Rectifier Distortion
22	ROCK VRB CL	Orange Rockerverb Clean
23	ROCK VRB DS	Orange Rockerverb Distortion
24	CITRUS 30	Orange AD 30
25	CITRUS 50	Orange OR 50
26	SLOW 100 CR	Soldano SLO-100 Crunch
27	SLOW 100 DS	Soldano SLO-100 Distortion
28	DR.ZEE 18 JR	DR.Z Maz18 Jr
29	DR.ZEE RECK	DR.Z-Z-Wreck
30	JET 100H CL	Jet City JCA100H Clean
31	JET 100H OD	Jet City JCA100H Distortion
32	JAZZ 120	Roland JC-120
33	UK30 CL	Vox AC30 Clean
34	UK30 OD	Vox AC30 Overdriven
35	HWT 103	Hiwatt DR-103
36	PV 5050 CL	Peavey 5150 Clean
37	PV 5050 DS	Peavey 5150 Distortion
38	REGAL TONE CL	Tone King Falcon Rhythm
39	REGAL TONE Od1	Tone King Falcon Tweed
40	REGAL TONE Od2	Tone King Falcon Lead
41	CAROL CL	Two Rock Coral Clean
42	CAROL OD	Two Rock Coral Overdriven
43	CARDEFF	Two Rock Cardiff
44	EV 5050 CL	EVH 5150 Clean
45	EV 5050 DS	EVH 5150 Distortion
46	HT CLUB CL	Blackstar HT Stage 100 Clean
47	HT CLUB DS	Blackstar HT Stage 100 Distortion
48	HUGEN CL	Diezel Hagen Clean
49	HUGEN OD	Diezel Hagen Overdrive
50	HUGEN DS	Diezel Hagen Distortion
51	KOCHE OD	Koch Powertone Overdrive
52	KOCHE DS	Koch Powertone Distortion
53	ACOUSTIC 1	Acoustic simulator 1
54	ACOUSTIC 2	Acoustic simulator 2
55	ACOUSTIC 3	Acoustic simulator 3

*NOTES: 全てのプロダクトネームは各メーカーの呼称です。ここではシミュレーションの説明として記載しています。

CAB		
MODEL NAME		BASED ON
1	US DLX 112	Fender Deluxe reverb 112
2	US TWN 212	Fender Twin reverb 112
3	US BASS 410	Fender Bassman 410
4	SONIC 112	Fender Super Sonic 112
5	BLUES 112	Fender Blues deluxe 112
6	1960 412	Marshall 1960A 412
7	EAGLE P412	Engl Pro XXL 412
8	EAGLE S412	Engl Vintage XXL 412
9	MARK 112	Mesa Boogie Mark 112
10	REC 412	Mesa Boogie Rectifier 412
11	CITRUS 412	Orange Pc412
12	CITRUS 212	Orange Pc212
13	SLOW 412	Soldano SLO 412
14	DR.ZEE 112	DR.Z Maz 112
15	DR.ZEE 212	DR.Z Z-Wreck 212
16	JAZZ 212	Roland JC120 212
17	UK 212	Vox AC30 212
18	HWT 412	Hiwatt Ap412
19	PV 5050 412	Peavey 5150 412
20	REGAL TONE 110	Tone King Falcon 110
21	TWO STONES 212	Two Rock 212
22	CARDEFF 112	Two Rock 112
23	EV 5050 412	E VH 5150 412
24	HT 412	Blackstar HTV 412
25	GAS STATION 412	Diezel Hagen 412
26	ACOUSTIC 112	1 x 12" cabinet for acoustic amplification

NS		
MODEL NAME		BASED ON
1	NOISE KILLER	MOOER NOISE KILLER
2	INTEL REDUCER	MOOER Intelligent Noise Reduction
3	NOISE GATE	MOOER Digital noise gate

*NOTES: 全てのプロダクトネームは各メーカーの呼称です。ここではシミュレーションの説明として記載しています。

EQ		
MODEL NAME		BASED ON
1	MOOER G	5 band graphic EQ for guitar
2	MOOER HM	5 band graphic EQ for BASS guitar
3	MOOER G-6	6 band graphic EQ for Guitar
4	CUSTOM EQ	3 band parametric EQ with adjustable frequencies and $\pm 12\text{Db}$ boost/cut

MOD		
MODEL NAME		BASED ON
1	PHASER	Based on the MOOER NINETY ORANGE
2	STEP PHASER	Square wave phase shifter
3	FAT PHASER	Low frequency phase shifter
4	FLANGER	Based on the MOOER E-LADY
5	JET-FLANGER	Based on the MOOER JET FLANGER
6	TREMOLO	Based on the MOOER TRELICOPTER
7	STUTTER	Choppy cut off filter
8	VIBRATO	Pitch modulation
9	PITCH SHIFT	Dry signal pitch shifter. Can simulate classic whammy.
10	DETUNE	Fine tune pitch adjustment
11	ROTARY	Simulates a vintage leslie rotating speaker
12	ANA-CHORUS	Stompbox style analog chorus
13	TRI-CHORUS	Rich multi stage chorus
14	RING MOD	Ring modulator
15	Q-FILTER	Static notch filter (like a half cocked wah pedal)
16	HIGH PASS	Static high frequency pass filter
17	LOW PASS	Static low frequency pass filter
18	SLOW GEAR	Auto volume swell
19	LOFI	Low rate sampling filter

*NOTES: 全てのプロダクトネームは各メーカーの呼称です。ここではシミュレーションの説明として記載しています。

DELAY		
MODEL NAME		BASED ON
1	DIGITAL	Recreates the crystal-clear repeats of the 80's delay units
2	ANALOG	Modelled after classic stompbox delays with BB chips
3	DYNAMIC	Digital Delay which responds to instrument dynamics
4	REAL	Realistic and natural echoe
5	TAPE	Recreates swirly 70's tape echo
6	MOD	Digital Delay with modulated repeats
7	REVERSE	Backwards delay
8	DUAL DELAY	2 delays with independent controls
9	PINGPONG	Stereo delay

REVERB		
MODEL NAME		BASED ON
1	ROOM	Small room reverb
2	HALL	Large room reverb
3	CHURCH	Huge room reverb
4	PLATE	Studio style plate reverb
5	SPRING	Classic spring reverb tank
6	MOD	Reverb with modulation
7	CAVE	Spacious and atmospheric reverb

*NOTES: 全てのプロダクトネームは各メーカーの呼称です。ここではシミュレーションの説明として記載しています。

MOOER

MOOER AUDIO CO.,LTD
Shenzhen, China
www.moeraudio.com